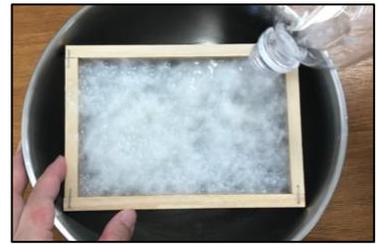


③ 枠に流し込む

②で作った液体を枠の中に流し込んでいく。水が枠の下に落ちるので、流し台か、ボウルや洗面器の上で作業しよう。
枠からこぼれないように少しずつ、全体の厚さが均一になるように流す。穴が開かないように気を付けよう。



④ 水を切る

紙の上から手でおさえて、水を下に落とす。
最初は紙が分厚く、触った感じがぶよぶよしているけれど、水を切っていくにつれて紙がうすく、固くなっていく。
だいたい水が切れたら、乾いたタオルの上に枠を裏返して置く。網の上から全体を手でたたき、紙を枠から外したら、タオルではさんで更に水分を吸い取る。



⑤ 乾燥させる

時間があるときは、窓ガラスに貼り付けて乾かす。一晩もすれば乾いてはがれてくるので、本などにはさんでまっすぐに整えたら完成。
急ぎたいときは、はがきにハンカチをかぶせて、上からアイロンをかける。水分が多いうちはジュッと音がしてたくさん湯気が出るので、やけどしないように気を付けよう！
アイロンをあてる時間が長すぎると、焦げて茶色になってしまうので注意しよう。



ねんがじょう
⑥年賀状にする

はがきが上手に作れたら、実際に郵便で送ってみよう。下の図を参考にしな。このとき、住所などを書く面の上の方に「郵便はがき」と書き、切手の下に赤ペンで「年賀」と書くのを忘れないようにしな。

赤ペンで書く

自分の住所と名前

相手の住所と名前

郵便はがき
〒819-1192
糸島市前原西一丁目一番一号
糸島市役所 生涯学習課
御中

切手
年賀

糸島市〇〇△丁目△番△号
〒819-xxxx

郵便で送れるはがきの大きさ・重さ

縦の長さ	14 cm～15.4 cm
横の長さ	9 cm～10.7 cm
重さ	2 g～6 g

※教材の枠の大きさは縦15 cm、横10 cmにしています。

送り先が人の名前の場合は「様」、
会社や団体名の場合は「御中」をつけよう。

作ったはがきに書くときは、ボールペンなどの先のとがったものだと引っかかって書きづらい場合があるので、マジックや筆ペンなどがおすすめ。裏にインクがにじまないかどうか、確認してから書き始めよう。色をぬるときは色鉛筆をねかせて使うとぬりやすい。



★生涯学習課に年賀状を出してみよう！

令和3年1月8日(金)までに届くように出してくれた人には、生涯学習課からお返事を出します。

みなさんからの年賀状を楽しみにしています。

あて先はこちら

〒819-1192 糸島市前原西一丁目1番1号 糸島市役所 生涯学習課

★送ってもらった年賀状の裏面(イラストなどを描いた方)はHPに掲載します。

他の人に見られて困るような内容は、書かないようにしてください。

さらにチャレンジ!

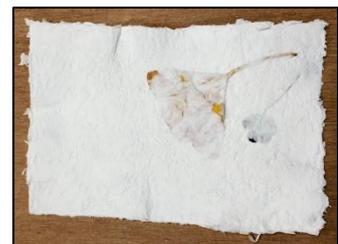


★ラメやかざりの入ったはがきを作ろう!

ラメなど、はがき全体にまぜたいものは、ペットボトルの中に入れて一緒に振ろう。今回は教材にまぜ込み用のかざりをランダムに入れているので、ぜひ試してみよう。もっと色々な種類で作ってみたい人は、100円均一のお店などで探してみよう。

葉っぱや押し花などのかざりを一部に入れたいときは、枠に紙のもとを半分流したところでかざりを好きな位置において、さらに上から紙のもとをかけよう。

かざりを入れたときは、できるだけ窓に貼り付けて乾かしてね。アイロンを使うと、かざりによっては、とけたり、色が変わったりしてしまうよ。



※重さや大きさに注意!

かざりを入れすぎると、はがきとして送れる重さを超えてしまうので注意! はがきとして送れるのは、重さが2~6gのものだけだよ。

はかりを持っている場合は作る前に材料の重さを確認しておこう。はかりがない場合は、はがきを出す前に郵便局で確認してもらってね。

また、はがきのふちがひどくガタガタしている場合は、郵便局の人が扱いやすいようにはさみで切ってまっすぐにしよう。このとき、小さく切りすぎると送れなくなってしまうので気を付けよう。縦14cm、横9cmよりも小さくならないように注意してね。

